



<校訓> 自主自律

学校教育目標

自ら学び、共に生きようとする生徒の育成

- ・豊かな感性と優しさをもつ、人間性あふれる生徒
- ・集団の中で他者と協働し、コミュニケーションを図りながら課題解決をめざす生徒
- ・明確なめあてをもち、自ら考え正しい行動のできる生徒

期待する生徒の姿

★生徒の実態

- ・あいさつがよく、明るく素直な言動がとれる。
- ・集団の中で互いの良さに気づき、共に伸びようとする気持ちが前面に出にくい。
- ・与えられたことにはまじめに取り組む。自ら進んで取り組むことには控えめである。

★保護者・教師の願い

- ・心豊かで思いやりのあるあたたかい生徒
- ・規律正しく、何事にも自ら取り組もうとする生徒
- ・目標に向かって粘り強く取り組む生徒
- ・健康に留意し、体力づくりに励む生徒
- ・勤労を尊び、ふるさとを愛する生徒

<重点目標>

●共生●

他者に対する思いやりと感謝の心を持ち、コミュニケーションを図りながら集団の中でよりよい人間関係を築き、共に生きようとする生徒を育成する。

●確かな学力●

ユニバーサルデザインの視点に立ち、わかる授業の工夫に努め、生徒に学ぶ楽しさを味わわせ、確かな学力の定着を図る。

●豊かな心・健やかな体●

生徒理解を基盤とした心の教育と基本的な生活習慣の定着を図り、心身とも健康な生徒を育成する。

●信頼される学校●

地域との連携を密にし、地域とともに歩む信頼される学校づくりに努める。

◎道徳・人権教育の充実

- ・学校教育全体で道徳・人権教育を推進する。

◎温かな学級、好ましい人間関係の構築

- ・集団内のルールとマナーを確立する。
- ・連絡ノートを有効に活用する。

◎教育相談、支援体制の充実

- ・いじめ・不登校等に対し、「ちょっと聞いて」(生徒の声を聞く機会)を実施し、未然防止・早期対応を図る。
- ・関係機関との連携を密に行う。
- ・ポジティブ教育に全校体制で取り組む。

数値目標

- ・道徳の授業公開を年間2回行い、道徳だよりを年間3回発行する。 教員100%
- ・温かな学級 学級満足度 生徒80%
- ・いじめ問題解消 100%

◎授業のユニバーサルデザイン化

- ・学習意欲が高まる学習課題の設定と授業展開の工夫をする。
- ・ICT機器・新聞を効果的に活用する。

◎ふるさと学習の充実

- ・体験を通して地域の良さや課題を学ぶ学習を推進する。

○読書活動の推進

- ・朝読書の時間を確保し、読書に親しむ生徒を育てる。

○進路指導とキャリア教育の充実

数値目標

- ・ユニバーサルデザインの視点に立ち、ICT機器・新聞を活用したわかる授業の工夫に努める。 教員80%
- ・体験を通したふるさと学習の推進 教員80%
- ・読書に親しむ生徒 年間6冊

◎生徒が主体の東陽スマートルール

- ・スマホやパソコンの使い方について自主的にルールを決めさせ、順守をめざす。
- ・SNSに関する学習を実施する。

◎積極的な体力向上への取り組み

- ・教科体育、全校体育、部活動の充実を図る。
- 生徒会活動、委員会活動の充実
- ・生徒評議会を機能させ、活動の活性化をめざす。
- ・あいさつ運動の推進と無言清掃の徹底を図る。

数値目標

- ・東陽スマートルールを守る。 生徒・保護者80%
- ・SNSに関する学習 年間3回
- ・体力テスト校内平均値 県平均値以上70%
- ・あいさつ運動の推進、無言清掃の徹底 生徒・教員90%

◎積極的な情報発信や学校公開

- ・各種たよりやホームページ等で生徒の活動の様子や学校の取組みを伝える。
- ・はぐくみ学級などで授業や行事を公開する。

○保護者アンケートの実施

- ・保護者の意見や考えを教育活動に生かせるようアンケート内容を工夫する。

○生徒の地域行事への積極的な参加

- ・掲示物等を活用した地域行事の情報提供と教員の呼びかけで参加を促し、地域の一員としての自覚を高める。

数値目標

- ・学校だより『成蹊』の発行 年間20号
- ・授業・部活動・行事の公開 年間3回
- ・保護者アンケートの実施 年間2回
- ・生徒の地域行事への参加 参加率平均70%